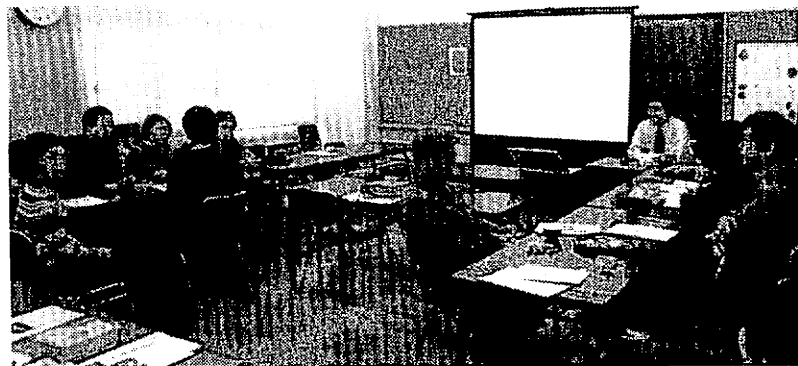




サロンあべの



障害者とスポーツ

〈サロン・あべの〉1月の出会い

平成20年1月19日(土)、育徳
 コミュニティーセンター2階研
 修室において、〈サロン・あべの〉
 は、「障害者とスポーツ」という
 テーマで、大阪府立大学大学院
 総合リハビリテーション学研
 科教授の奥田邦晴先生に、プロ
 ジェクターで実際に競技者が競
 技する映像を見ながら、お話を
 伺いました。(上・写真)

・障害者のスポーツ

重度障害者のスポーツとは、
 余暇を楽しみながら健康でより

活動的な人生を充実させるため
 の1つの手段です。種目も個人
 競技や団体競技などたくさんあ
 り、重度障害者や障害高齢者ま
 で幅広い人達が参加できるよう
 になっています。

細かい話ですが、障害者スポ
 ーツという言葉は使いません。
 障害者とスポーツの間に「の」を
 いれて「障害者のスポーツ」と言
 っています。特別なスポーツで
 はなく、障害のためにできない
 ことや安全のためにルールや補
 装具に工夫を凝らして行ってい
 るもので、スポーツを障害の持
 つ方が持っているという意味で
 こだわりを持っています。英語
 というとhandicap(ハンディキ
 ャップ)と言われるが、最近では、
 adapted sports(アダプトテッド
 スポーツ)と世界では使われてい
 ます。これは「適用する」という
 意味で、工夫をこらして誰もが
 楽しめるスポーツという意味を



もっています。

工夫の例を1つ。頸椎損傷で指が利かないため、口から吹く息で弓を打つ補装具を使ってアーチェリーをされています。この選手は元々エンジニアで、自分の障害に合った補装具を考案されたのです。

・クラス分け

障害者のスポーツには、クラス分けというものがありません。すべての障害者にできるだけ同程度の人同士で競技するための

ものです。障害の程度に応じて、重度の方が世界の代表として活躍できるようにしています。

例えば、水泳競技は、10の区分に分けられていて、程度に応じて水中スタートなどルールを定めています。

また、車いすバスケットボールでは、その人の障害の損傷に応じて低いゴールを設けて行うツインバスケットボールがあります。普通の車いすバスケットボールは、1チーム5名の構成ですが、選手一人ひとりに障害状況に応じた「持ち点」があり、出場メンバーの合計点数の上限を定めて競技を行います（障害の軽い選手ほど持ち点が高い）。この制度は、軽度障害の選手だけによるチーム編成を防ぎ、重度な障害があっても高い技術を持つている選手が活躍できるように考えられています。

・ボッチャ

ボッチャは、重度障害者のスポーツで、重度の判定を受けた人でないと競技者として出場できません。赤と青のボール3つを白いターゲットボールにどれだけ近づけるかを競う競技で、相手のボールをはじき飛ばしたり、1投ごとに展開が変わっていきまます。展開によって作戦を組み立てていくのです。ボールが持てない人、投球できない人には、ランプという傾斜した桶のような形をした投球器具が使われます。ランプは介助者1名

ん。(上・写真)

・障害者のスポーツの意識調査

*健康状態は

スポーツをしている人のほとんどが「健康」と答えています。泌尿器科・整形外科など医療機関への受診率が高いのは、ケアを目的として医療を利用しているからでしょう。一方、スポーツをしない人の中で「健康でない」と答えた人の内、医療機関で定期受診をしている人が多いのは、スポーツ代わりに機能訓練をすること、身体的ケアをしている傾向があるからでしょう。

*スポーツを始めたきっかけ

友人・知人の紹介が圧倒的で、それも同じ障害をもった人からの情報提供が多くを占めています。逆に医療従事者や養護学校の先生からの情報提供はきわめて少ないのです。

お知らせ

<サロン・あべの> 3月の出会い

内 容…薬膳～医食同源

—身土不二(しんどふじ)—

お客さま…上市俊子さん(有限会社大有堂薬局、薬剤師・自然薬師)

日 時…3月15日(土) 午後1時～4時

場 所…育徳コミュニティーセンター2階
研修室(スロープ・車いすトイレ有)

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL 06-6621-1901

最寄り駅=

地下鉄御堂筋線「西田辺」

下車すぐ

会 費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

*スポーツを始めてからの変化
身体面においては、「筋力がついた」「体力がついた」「不可能と考
えていた動作の技術を習得できた」「自己の可能性が発見できた」とい
う人が多い。逆に動きの激しいス
ポーツではマイナス面もみられま
す。「傷やケガをよくするようにな
った」「痛みが出るようになって
た」「痙性が強くなった」「疲れが
とれない」など。

精神面においては、「前向きな考
え方に変わった」「素直に自分の障
害を肯定できるようになった」「積
極的になった」など。
社会面においては、「外出する目
的が出来、外出する機会が増えた」
「友人が増えた」「たくさん情報
が得られるようになった」「配偶者
との出会いがあった」、他に「チー
ムリーダーになったことで、他人
のことも考えるようになり、人と

接する態度が変わった」という意
見もありました。

家族との関係においても、本人
の障害を客観的に理解すると共に
潜在能力に気づいた結果、家族と
の関係が修復したという変化が認
められました。また、自分の存在
が他者の障害に対する価値観を変
えているケースもあるようです。

*障害者のスポーツの意義

スポーツは自立支援の一手段と
しても非常に有用です。本来、障
害者のスポーツはあくまでも個人
の意志決定によるものであり、種
目の選択についてもそうでなけれ
ばなりません。障害者が自立手段
の1つとして意識的にスポーツを
するのでなく、スポーツそのもの
を楽しむことが、無意識のうち
に障害を受け入れるようになり、
自立した生活をするようになるの
です。社会において障害者として
見られがちな人たちが、スポーツ
場面ではヒーローになったり、主

人公であったりします。パラリン
ピックの選手にでもなろうものな
ら、まさしく究極の自己表現を果
たしたことになるのかも知れませ
ん。医療・福祉従事者は重度障害
者が社会に一步踏み出すための情
報提供やスポーツを早期体験でき
るようなシステム作り、競技を行
う上でのサポートや生涯にわたつ
て行いうる環境作りなど、その意
義について理解し、積極的に推進
していく必要があります。

お話の後、みんな、ポッチャ
の体験をしました。

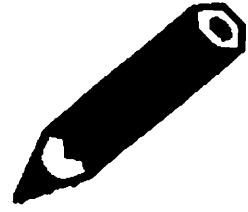
ポッチャは、みんなが一体と
なって楽しめる奥の深いスポー
ツです。スポーツの可能性をあ
らためて感じたサロン・あべの
1月の出会いでした。

(参加者17名 山村 貴司)

.....

(サロン・あべの)1月の出会いは、「市民フォーラムおおさか」協働事業として参加しています。

43



邦子、 …ん歳の手習い。

障害者自立生活の変遷 ②

1984年に設立された中部障害者解放センターは、支援費制度の移行に先立って、2003年に任意の団体から(特定非営利法人)NPOちゅうぶになりました。NPOちゅうぶは、1998年設立の自立生活センターナビ(以下、ナビと略)を中心に障害当事者が中心になって運営されています。ナビは岸田美智子さんが代表を務める自立生活センターまいどと同じ活動、すなわち、ピアカウンセリグや障害者の自立に必要な支援を行っています。

ナビ開所時の1998年から2007年までのナビへの相談件数は、5021件で、毎年ほぼ同じくらいの相談件数であるということなので、年平均627件です。最近では自立したいという障害者の相談よりも、障害者の日常的な問題に関するような問題が多いということですが、障害者への公的保障制度がま

たくなかった頃に比べ、障害者が使える公的保障も徐々に進み、無理して、単独の自立生活を始めなくてもと思う障害者も増えてきたのかもしれませんが。しかし、親・家族からの相談も多く、障害者本人の希望などは後ろに隠れている場合が多いそうです。例えば、自分の子供を施設に入れたいとかその他の相談でも、障害者本人の意見を聞かせてくださいという、相談に来なくなるケースも多いということになります。

グループ・ホームは、1989年に「とんとんハウス」が初めて開所されてから、1995年には、「ステップハウス」が開所されました。2001年、「ステップハウス」は賃貸契約切れで閉所しましたが、入居者3人は単独の自立生活に移行しました。今までのグループホームの入居者を含め23名が単独の

自立生活へと移行していきました。

2006年4月には、グループ・ホーム「リオ」(入居者6名)が開設され、堺市の施設から数名の入居者を受け入れられました。彼らは、施設の廃止に伴う施設からの地域移行のための入居者です。彼らは、自立生活をするために、半年間のナビの自立生活プログラムを受けて、自立生活の準備をしてから、「リオ」に入居しました。しかし、ナビのこれまでの障害者の自立生活にむけての準備は自立生活プログラムを通じて、介護者を使つての宿泊体験を含め、2年から3年をかけていきました。今回は施設閉鎖による地域移行ということもあり、短い期間での自立生活への移行が行われました。また、「リオ」の入居者のうち、5名が知的と身体の上重障害者で、今まで重度身体障害者の自立を中心に取り組んでいたNPOちゅうぶにとって新たな経験であるといえます。

「リオ」は、東住吉区の駒川商店街からも近く、それぞれの個室には、トイレとキッチンがあり、快適な住まいです。しかし、障害者自立支援法になり、介護時間も縮小される中で、もともと労働単価が低いこともあり、

介護者が集まりにくいなど、入居者の自立生活を支えていくことが難しくなってきたという事です。現在、大阪市の助成金を受けて、ナビは運営されていますが、財政難の大阪市からその助成金をいつカットされるかわからない危機もはらんでいます。このように、自立生活支援のための課題は多いですが、現在、新しいグループホームで施設からの地域移行の障害者や知的障害者を迎えて新たな問題を切り開くべく、今後も地域に根ざした自立生活運動を展開しようとしています。

(定藤邦子)

ありがとうございました。

カンパ、お茶菓子のご寄贈、また、ソングツプのお買い上げなど、ありがとうございました。

カスターネット、安達尚子、今西美奈子、

岩本温子、小西京子、崎本ヒサエ、

仲田孝史、中村久子、平岡太、

道川内喜美子、山本鈴子、

その他の方々。(敬称略)

晴れのち晴れ=113-

稲垣恵雄

□ユーモア

「ユーモア」とは何とひびきの良い言葉なんだろう。ユーモアの言える人は賢明で機知に富み、心に余裕のある人だと言われている。

このユーモアとは上品なシャレのことで、諧謔、こっけい、おかしさなどを指す。しかし「ユーモア」という言葉の語源は、ラテン語の「体液」に由来するという。体液と言うまでもなく血液、リンパ、脳脊髄液などを指すが、ユーモアを言えば血がさらさらになり、おだやかな気分させてくれるのかも知れない。

ところでどこのスポンサーだったか、以前テレビでこんなCMが流れていた。

お見合いをしていた男性が、相手の女性に「あなたの趣味はなんですか」と尋ねた。すると女性は「はい、私の趣味はしを読むことです」とさっと立ち上がってしを読み始

めた。

「札幌市、弘前市、秋田市、仙台市…」と。男性は、女性が詩を読むものと思っていただけに、なんだか狐につままれたような顔をしていた。もちろんこれは市と詩をかけ合わせたものだが、わずか15秒のCMで十分楽しませてくれる。これこそが真のユーモアである。

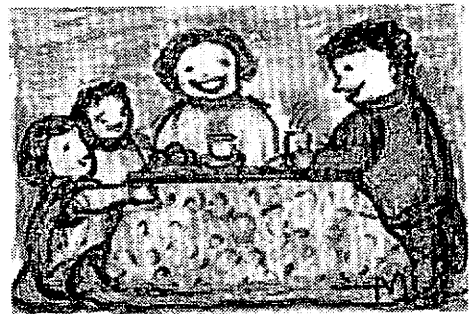
ちなみにもう1つユーモアを記しておく。お墓の管理人が、ある人に聞いた。

「お宅、お墓ありますか？」

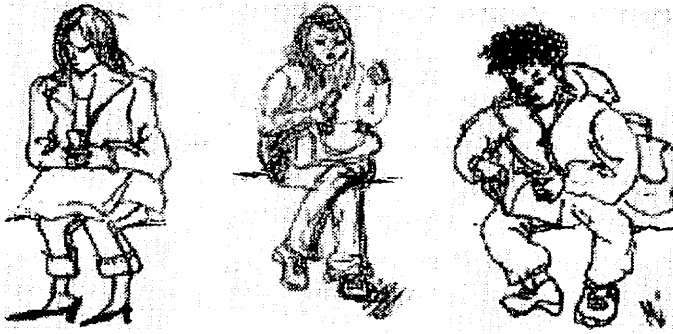
「いいえ、まだないんです」

「うーん、そりゃはかない人生だねえ」

まだまだ寒い日が続くが、お互いにユーモアを言って心身ともにあたたまりたいものだ。



ワーキングプア



昨年十一月(二百五十七号)に発行されたサロン紙には次のようなことを書いた。「少し前、流行したスマップの『世界にひとつだけの花』……。みんな誰でも『世界

にひとつだけの花』なのだから、『一人一人違う』のであって、『その中で一番になりたがる』のは間違っている。だから『ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン』なのだからという歌詞……。これは、多くの働こうとしない若者たちの心のうちを歌ったものだと誰かが言っていた。自分は特別な存在なのだから、誰にでもできる仕事はやりたくない。自分にしかできない特別な仕事をした。しかし、それが何かわからないから、仕事につかないという理屈である。」

別に誰から指摘されたわけでもないのだが、こういうことを書いたのは間違いだったと反省している。間違いというよりは、考え方が古いのである。たしかにそういう若者がいた時代はあった。たぶん、私自身が若者であったところである。何をしていたのかわからないから、少しばかり自由を楽しむつもりで、アルバイト生活を続けている人はいっぱいいたと思う。

当時と今の違いは、そういうアルバイト生活を続けていた人でも、当時は、その気になればいつでも正社員になった。少なくとも、なれるという希望は持てた。しかし、ど

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない
愛について

700円

ほんの少しの
神に近い部分

700円

うやら今ではそれは非常に難しいらしいのである。

それにいまさらながら気がついたのは、ワーキングプアという言葉を知ってからだ。ワーキングプアとは、働いても働いても、非常に貧しい生活しかできない状況になっている人たちのことをいう。

ある本(*)によると、フリーターやパートなどの非正規雇用の人(つまり、正社員ではない人たちは、日本で働く人の三人に一人。二十四歳以下では二人に一人が非正規雇

用。つまり半分の方は正社員のように安定した職場をもっていない。

また、やはり同じ本によると、フリーターの平均年収は一〇六万円だということ、これでは経済的に自立するのは無理な話だろう。一生懸命働いても、時給は年に十円単位でしか上がらない。しかも、一度フリーターになってしまつと、なかなかそこから抜け出せない。フリーターであった人を企業は正社員としては雇いたがらないからだ。

この本のどこかに書いてあつたと思うが、

ききみみずきん

バリアフリー？

今年は年始めより、電動車いすで外出する機会が多くありました。行き先は公共の建物でエレベーターや車いす用トイレなどもあり、私にとっては動きやすい場所でした。が、そこでちょっと嬉しかったことと、困ったことがありました。嬉しかったことは、エレベーター前でスイッチを押そうとした時、人影が頭の上をよぎったのです。何があつたのかとビックリしている間にエレベーターの扉が開きました。1人エレベーターに乗り込んだ私は、通りすがりの人がスイッチを押して行かれたことを降りる時気づきました。私がエレベーターのスイッチを押す時は、車いすの位置と自分の手の届く範囲を考慮するので、どうしても時間がかかってしまいます。それを見たどなたかが、押してくださったのです。地下という場所もよかったのだと思いました。困ったことは、車いすトイレを使用しようと少し離れて待っていましたら、出てこられたのは健常者。次にと思っていたらその連れらしき人がさっと入られた。今度は真ん前で待つことにしました。出てこられた人が、私を見て「入りはんのん？」と言われました。また、別の所では、もう少しで頭を打ちそうになりました。そこの車いすトイレは中に入らないと点灯しない仕組みになっていましたのでゆっくり入りかかると、目の前にベビーベッドが伸ばされたまま。幸い軽く上げられたので中に入れましたが、バネが固ければ手におえないところでした。他の所でも車いすトイレの手すりが上げられていたり、ベビーベッドがそのまま、中に入って車いすが動けなくて難儀したことがありました。誰もが利用されるのはよいことなのかもしれませんが、一般の人はなぜそれが必要なのかを考えて使用してほしいなと思いました。(け)

悲劇はフリーターの親たちが、世の中の雇用状態が変わってしまったことに気づいていないこと。努力すれば、正社員になれる、ないのは本人の努力と自覚が足りないからと

思い込んでいることだという。私が反省しているのは、冒頭の文章を書いたとき、その親と同じ認識しかもつていなかったからである。

こんなにも日々の生活に不安をかかえている人がいるのなら、心身ともに病んでいく人が多いのはよくわかる。児童虐待や家庭内暴力が増えているとしても不思議ではない。病

院に行っても治療代を払わない「マナーの悪い」患者がいるという批判があるが、マナーの問題ではなくて、実際に払うお金が無いのではないか。

こういう非正規雇用の問題は、多くの大企業がかかえているものなので、その会社がスポンサーになっているテレビのニュース番組では取り上げられないという。自分で本を読んでもしか知る方法はないらしいのだ。(知)

(*) 兩宮処凜『生きさせろ！難民化する若者たち』太田出版、二〇〇七年

豊かな生活

Mai
スウェーデン
留学記 17

日本は豊かな国ですか？物が溢れてはいませんが、本当に豊かだと感じている人はどのくらいいるのでしょうか。

スウェーデンではよく知り合いの家にステイさせてもらったり、晩ご飯を招待してもらったり、一緒に車で様々な場所に連れて行ってもらうたりしていました。基本的に大金持ちという人はいませんが、どの家庭もすごく豊かで幸せな気分にかけてくれます。「お客様」というよりちょうどその家庭に家族の1人として入り込んだ感じ・・・私はその普通の生活を垣間見れることが好きで、スウェーデン人の知り合いから招待を受

ければ必ず出かけていくのです。

私は留学する前に研究目的で来日されたスウェーデン・カールスタット大学で社会福祉を教えている教授とその家族に出会いました。とても優しく、気さくな家族ですぐに大好きになりました。そこからメールのやり取りが始まり、「スウェーデンに来て困ることがあったらいつでも連絡してきなさい」とまで言ってくれたのでした。今でも連絡を取り合っている人達、ベクトとグニツラ夫妻。素晴らしい友達です。

夏、ウプサラでの語学学校が終わり、ウェクショー大学に移動するまで10日間ほどどうするか迷っていた私に対して、「3日間ほど你家においで」と言われたので、早速遊びに行くことにしました。カールスタットという街は、ウプサラと同じように大学街。そこからはさらに北へよりノルウェーに近いアルヴィーウプサラから出発したこの旅は、ストック



ハイキング・森全体の風景
(川はノルウェーから流れてきています)



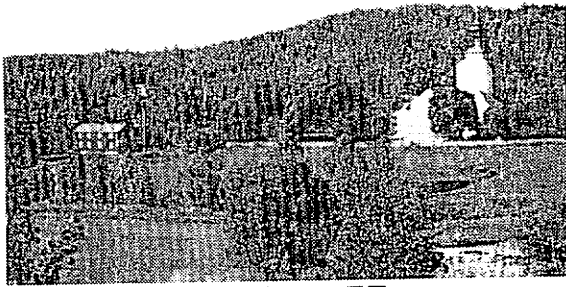
森の中の風景

ホルムで電車を乗り換え、シルという小さな駅で乗り換えのために1時間待つというドキドキの旅でした。まだスウェーデン国内をあちこち旅していない頃で慣れていないので、緊張でした。

事前に「駅で待っているから」という電話をもらっていたのですが、朝10時頃出発し、シル駅に着いたのはもう夕方。1時間の待ち時間があつたので、駅の小さなカフェに入り、休憩していました。賑やかな語学学校での生活とはまったく違い、誰も知らない、人も2人ほどしかいない、小さな駅で、とても静かな空間でした。1つ分かったのは、スウ



アルヴィーカ周辺



村の教会とその周囲

エーデンでもかなりの田舎にきたということでした。日本にいたとしても1時間の待ち時間なんてイライラして待つていられないのに、スウェーデンではよくあることで、1時間の待ち時間も平気に感じられるものです。ようやく来た電車に乗り、目的地のアルヴィーカに到着したのは、午後6時過ぎでした。小さな小さな町。駅でちゃんとグニツラが待つていてくれました。ハグで再会を喜び合い、そこからベンクトや子ども達が待つ家へ車で15分くらい走ります。森と湖の中

を走る車。とても自然の豊かな場所です。そのキレイな風景・・・自然の宝です。自宅で待つていてくれたベンクトや14歳の男の子にも再会。部屋に案内されて、少しくつろいだところで、周囲を見て驚きました。本当に何も無いということか・・・。隣の家はずっと離れた場所。車もたまにしか通らない、私の携帯電話の電波がない・・・。その日は、グニツラの手作りの美味しいお料理をいただいた後、湖まで散歩してきました。普段は違う場所に住んでいる一番上の娘さん、クリステイ

ーナも会いに来てくれ、一緒に散歩。私とクリステイーナは年が1つしか違わないので、すぐに仲良くなつて、いろんなことを話してくれました。冬とは違い、夏は1日が長いのです。歩きながら、家族で会話を楽しむ・・・スウェーデンの人達は、太陽が完全に沈むまで、こうやって残りの少ない夏を楽しんでいるのだと思いまし

た。次の日、みんなで行ってきました。一番下の14歳の男の子は、当時リースクールに通っていたので、学校へ。学校の管理は親達が、当番制でしているのです。芸術関係や音楽、園芸、いろんなことを活動しています。ベンクトがその日当番に当たっていたので、私は少しリースクールの中を見せてもらいました。その後、私達は、アルヴィーカの町を歩き、図書館や市場を案内してもらったのです。湖がそばにある、とてもどかな町です。ベンクトとお昼頃、合流した私達は一緒にカフェに入り、アイスクリームとコーヒーで談笑していました。こんなに自然豊かな場所、のんびりとした時間が流れ、本当に贅沢な時間です。ゆつくりと歩きながら夜に見るDVDを借り、自宅に戻り、また庭でスウェーディッシュ・ワッフルとアイスクリームをいただいて、一緒に森へとハイキングに行くことにしました。グニツラは森の中を歩くことが1番好きなのです。時々、歩きながら森に生えている野生のブルーベリーを食べたり、野生のヘラジカの足跡を見つけたたりして、本当に楽しいハイキングでした。もともと私は、日本ではあまり歩くことをしません。長時間歩くことはとても苦手です、すぐに疲れたと言つて、座り込んでしまうのです。でもスウェーデンでは、長時間歩くことが多

かったのですが、1度も嫌だと思つたことはありませんでした。街を歩いてても日本のように人が多くないこと、忙しそうに歩いている人がいないこと、車も歩行者優先で、信号がなくても歩行者を先に行かせることが疲れを感じない理由なのかもしれません。そして、森の中を歩くときは、森の木々から元気をたくさんもらっているようなそんな感じがします。

森の中で森全体を見渡せる場所があり、そこが私達の目的地でした。上から見た景色のきれいなこと！ 森を流れる川は、ノルウェーから流れてきたものだと思えてもらいました。ここで私はグニツラが持つてきていた、「トスカトータ」というアーモンドスライスがケーキの上にたくさん乗つた私のお気に入りのケーキとコーヒーをいただきます、しばらく休憩しました。

楽しいハイキングを終え、その日の夜、家族全員が集まつて街で借りてきたDVDを観ることにしました。聞けば毎週土曜日は家族みんなで映画鑑賞をするのだそうです。「舞が選びなさい」と言うので、適当に1つ選びました。観終わると家族と一緒に感想を言い合う・・・これが面白いと思いました。

3日目、日曜日なので、グニツラと一緒に教会に行くことにしました。グニツラは近所の教会の聖歌隊に入っているのです。礼拝が始まるまで1時間ほど練習するということなので、私は1人その教会の周辺を散歩してい

ました。湖のそばの小さな教会。天気も良く、のどか。こんなにいい場所を独り占めできることが嬉しかったです。1時間後に礼拝が始まるので、私も参加することになりました。人数も少なかつたのですが、逆にそれが神秘的でした。礼拝の後、グニツラに連れられて、教会から少し離れた場所でお茶をしようというので、馬車に乗りました。馬車といつても立派なものではなく、農家の人が夏の間だけ定期的に教会とその小さな村とを歩き来しているのです。スウェーデン語にもたくさん方言がありますが、素朴なヴェルムランド訛りが耳に心地よく響きます。夏の間だけその小さな村では、スウェーデンの昔ながらの生活を再現してありました。伝統音楽やダンス、私にとつては物珍しいものばかり。向こうは日本人が来たということで珍しそうです。たが。

楽しかつた生活もあつという間に終わり。この夜は私の提案で、私が料理を作るということで、グニツラ達も快く了承してくれました。私が準備している間、グニツラが森に出かけて行き、きのこを探ってきたりしているのを見ると、こんな生活がとても羨ましく思えました。結局私が作った料理は、日本から持つてきていたカレーのルーとお米でカレーライス。日本のお米とスウェーデンで手に入る細長いお米を混ぜて炊くとカレーにピツタリの美味しいご飯が

炊けるのです。とても喜んでくれ、あつという間になくなってしまいました。ベントが「料理を作った人は後片付けをしなくていいんだよ」と言ってくれ、私はグニツラに促されて、一緒に世界陸上ヘルシンキ大会の中継を観られて、よかつたと思えました。

最終日、私は朝早く出発しました。グニツラがまた駅まで送ってくれたので随分助かりました。私はここから、デンマークへ向かつたのです。

時々近況報告をして、クリスマスカードも送り合いました。「また会いましょう」その言葉の通り、去年の2月、日本で彼らと再会し、とても楽しい時間を過ごしました。

いつもメールのやり取りの最後にこう書きます。「また日本かスウェーデンで会いましょうね」と。

彼らに出会うとき、私は本当に豊かな生活とは一体どのようなものか考えさせられます。物に溢れてはいけません。お店も日曜は閉店、夜の7時にはほとんどの店が閉店。でも、時間を有効に使い、家族との時間を大切に、あくせくしないスウェーデンの生活。どちらが良いとは決して言えないのですが、日本で暮らしていると、スウェーデンのあの時間に追われない生活の方が豊かなような気がします。そろそろまたスウェーデンが恋しいです。

(清原 舞)

平成19年度 地域福祉講演会 ともに生きる地域社会をめざして

と き・平成20年3月3日午後2時～4時

と ころ・大阪市中央公会堂・大集会室

参加費・無料

定 員・1000名（先着順）

*参加証をお送りします

対 象・大阪市内在住、在勤、在学の方

講 師・ジェフ・バーグランド 牧口一二

申し込み締め切り・

定員に達した時点で受付を終了します

申し込み方法・

- ① 往復はがきまたはファックスで
「地域福祉講演会」と記入し、名前、
ふりがな、〒番号、住所、年齢、
電話番号、車いすの方・手話通訳などが
必要な方はその旨をご記入ください
- ② ホームページから

<http://www.wel-osaka.jp/>

「セミナー広場」→「当センター主催」

主 催・大阪市、

大阪市社会福祉研修・情報センター

申し込み先・大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

TEL 06-4392-8201 FAX 06-4392-8272

美智子のこんな話

岸田美智子

マキさんの講演会のお知らせです

毎週土曜日夕方7時からのNHK12チャンネルで放送されている「きらつと生きる」でおなじみの、牧口一二さんとジェフ・バーグランドさんの講演会があります。

私が牧口さんと出会ったのは、もう30年以

上も前で、障害者のプラス面という考え方をいろいろと広げていこうとしておられ、当時は新鮮な衝撃を受けたことを今でも憶えています。

「ちがうことこそ ええこつちゃ」という本や、障害は1つの個性という考え方を初めて教えてくださった方でした。

現在、大阪市では

アクションプランという地域福祉計画が進められています。私もこのコーナーで書かせていただいています。住吉区では「トイレ貸します」運動を展開中です。

ぜひみなさんも、地域を動かしていただけるパワーを、この講演会で身につけて欲しいと思います。

では、当日みなさんとお会いできるといいですね。



3月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

すぐ 市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ
会 費：なし
問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■「サロン淀川」3月の出会い

日 時：3月16日(日)午後1時30分～4時
内 容：いろいろな朗読のかたち パート4
お国ことばあり、異国のお話しあり、
今回は「旅」がテーマです

ゲ スト：淀川朗読ボランティアグループ
「こもれび」

場 所：淀川区民センター「やすらぎ」
[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

会 費：なし

問い合わせ先：淀川区社協 〒532-0005 淀川区三国
本町2-14-3 ☎06-6394-2900
E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にし」3月の出会い

日 時：3月8日(土)午後2時～4時
内 容：トランプゲームを楽しもう！
場 所：西区在宅サービスセンター、第1会議室
大阪市西区新町4-5-14 ☎06-6539-
8075 地下鉄=西長堀駅 4-A号 出口から

■「サロン・にしよど」3月の出会い

日 時：3月22日(土)9時50分～12時(予定)
行 先：大阪市立海洋博物館
「なにわの海の時空間」
集 合：9時50分に、大阪市営地下鉄中央線「コ
スモスクエア」下車。2号出口左手の「コ
スモバス」停留所に集合。10時のバスで
出発。

問い合わせ先：中本 ☎090-9864-9678

■「ウイズ東淀川」3月の出会い

日 時：3月9日(日)午後1時30分～4時30分
内 容：演芸会=落語、昔話、手品など

ゲ スト：朋友会

場 所：自由空間クラブ
大阪市東淀川区淡路5-10-7
☎06-6320-7036

会 費：なし

問い合わせ先：鈴木昭二
☎06-6340-3082
FAX06-6340-3012

■「サロンいたみ」3月の出会いはお休みです

寄りみち



■童謡♪絵はがき・冬の夜。この歌が発表されたのは明治45年。冬になると手や足の指、あるいは耳にしもやけができるのは当たり前前の時代でした。一般家庭には電灯もなく、ラジオはまだ先のことになります。冬の夜、外は吹雪、とろとろ燃える囲炉裏火に手をかざし、ランプの光の下で親子団らんのひとときを過ごすのが、冬の夜長の唯一の楽しみだったに違いありません。今でもこの美しいメロディと、家族の団らんのとって暖かい情景が浮かんで来るような歌詞とで、人から人へ歌い継がれています。2番の「過ぎしいくさの手柄を語る」の部分は、戦後「過ぎし昔の思いで語る」と改められました。(石)

<サロン・あべの>VOL.260 発行：平成20(2008)年2月16日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印 刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/「サロン あべの」でも検索できます